

単元名 生物の分類(2分野 単元1－4章)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解したり、科学的に分類するための基本的な技能を身に付けたりすることができる。
- (2) いろいろな生物の共通点や相違点から、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現するなど、科学的に探究することができる。
- (3) 生物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

標準的な展開例

10240104_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 検索表や特徴を基に、植物が分類できることを見いだす</p> <p>★植物の分け方を整理しよう。</p> <p>○樹形図について知る。</p> <p>○植物を分類するための樹形図を作る。</p> <p>○樹形図を活用して植物を分類する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 36の図10を確認させ、樹形図を作成することを押さえる。 教科書P. 67の「やってみよう」に取り組みさせる。 大きな分け方から小さな分け方になるように並べることを押さえる。 複数の植物を用意し、どの仲間に該当するか考えさせる。 種子や胞子、胚珠の様子、葉脈や根、花卉などの情報が分かるようにする。 時間があれば、必要な情報は生徒自身に調べさせるとよい。 <p>【評】樹形図を活用して植物を分類する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>
<p>2 検索表や特徴を基に、動物が分類できることを見いだす</p> <p>★動物の分け方を整理しよう。</p> <p>○動物を分類するための樹形図を作る。</p> <p>○樹形図を活用して動物を分類する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 69の「やってみよう」に取り組みさせる。 前時の活動内容を想起させる。 脊椎動物の分類の順番は、教科書P. 70の図2以外の順でもよい。 複数の動物の資料を用意し、どの仲間に該当するか考えさせる。 体のつくりが分かるような写真と、呼吸の仕方や子の生まれ方が分かるような資料を用意する。 時間があれば、必要な情報は生徒自身に調べさせるとよい。 <p>【評】樹形図を活用して動物を分類する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

ここでは、植物や動物が、前章までで学習した共通点や相違点に基づいて、それぞれの仲間に分類できることを見いだして理解させることがねらいである。

共通点や相違点に基づいて植物を分類できることを見いだして理解させる際には、例えば、同じ種類の植物であれば生育する場所などによって形や大きさに違いがあっても、花のつくりや葉脈の形状などに共通点があることに気付かせる。

また、それらの共通点に基づいた分類表や検索表などを作らせ、その表を用いて、未知の植物がどの仲間に分類できるかを考えさせることなどが考えられる。

また、共通点や相違点に基づいて動物を分類できることを見いだして理解させる際には、例えば、幾つかの共通点や相違点を基に分類表や検索表などを作らせ、その表を用いて、未知の動物がどの仲間に分類できるかを考えさせることなどが考えられる。

これらの学習を通して、植物や動物に対する興味・関心を高め、動物を観察するときによいような点に注目すればよいかを考える力を身に付けさせることが大切である。